

平成 24 年 1 月
市民国際プラザ 塚原

展示会 「様々なネットワークを活かした震災・復興支援」 報告

【1 開催概要】

目的: 東日本大震災発生から 9 月以上が過ぎ、現在も被災地や周辺地域にて支援活動が行われている。

今回は、テーマを「ネットワーク」とし、さまざまなネットワークを活かし震災、復興支援を行っている団体の活動を紹介する。緊急支援から復興支援へと移行した今、自治体・NGO/NPO・企業など様々なネットワークを活かした支援活動がどのように行われ、何が求められているのかを知る機会にしたい。

日時: 2011 年 12 月 12 日(月)～22 日(木) 10:00～18:00 (※土日を除く)

対象: 自治体・地域国際化協会関係者、NGO 関係者、一般市民

来場者数: 118 名

内訳: 自治体 56 名、地域国際化協会 5 名、NGO 41 名、その他 16 名

【2 展示内容】

今回は、「ネットワーク」をテーマとし、遠野市民ボランティアを中心として結成された「遠野まごころネット」の活動や、被災地で支援活動を行う国際協力 NGO のネットワークをまとめる「国際協力 NGO センター (JANIC)」の活動を紹介した。また 11/22 (財) 自治体国際化協会主催で福島県にて行われた東日本大震災外国人住民支援活動シンポジウムの様子についても紹介した。写真とともに活動報告書や団体パンフレットも一緒に配置し、来場者に配布した。下記はその詳細である。

■ 遠野まごころネットの活動

「遠野まごころネット」は岩手県遠野市に拠点を置き、岩手県沿岸部を支援する遠野市民ボランティアを中心として結成され、その他、地元の自治体、企業、NGO/NPO など様々な団体が参加している遠野市被災地支援ネットワークである。会場では、遠野まごころネットの活動ビジョンに関する資料をはじめ、力仕事や心のケア、活動報告会など、多岐にわたる支援活動に関する写真を展示し紹介した。また、参加したボランティアによる体験報告会についても展示し、展示会来場者の中でボランティア活動に関心がある方へ、様々な形の支援活動があることを紹介した。



展示資料: [遠野まごころネットのビジョン\(PDF\)](#)

■ 国際協力 NGO センター (JANIC) の震災タスクフォースの活動

東日本大震災発生後、国際協力 NGO センター (JANIC) の会員 NGO30 団体以上が迅速に被災地で活動を開始したのを受け、日本の NGO がこれまでの海外での活動経験をいかして、適切かつ効果的な支援活動を行っていけるよう設立された震災タスクフォース。被災地での情報収集や提供、NGO 間の調整、企業・財団などからの支援と NGO のマッチング、外部関係機関との連携、交渉、県レベルの調整活動、提言活動など、様々なかたちで調整を行う震災タスクフォースの活動紹介写真を展示した。



また、被災地にて支援活動を行う NG034 団体(2011 年 11 月現在)へ均等分配される「[東日本大震災活動支援まとめて募金](#)」についても展示。この募金へ寄付いただいた武蔵野市国際交流協会のチャリティイベントについても紹介した。



■平成 23 年 11 月 22 日開催 東日本大震災外国人住民支援活動シンポジウム in 福島の様子

[\(財\)自治体国際化協会](#)では、東日本大震災で、自治体、地域国際化協会、NGO/NPO をはじめ、様々な団体によって行われた被災外国人住民に対する支援活動の経験や知識を今後の被災外国人住民支援活動に役立ててもらうことを目的に、福島県にてシンポジウムを開催した。その時の様子やシンポジウム翌日に行われた「計画的避難区域」に指定されている飯舘村などの被災地視察の写真を展示。シンポジウムの開催報告書も一緒に展示した。



展示資料：[東日本大震災外国人住民支援活動シンポジウム&被災地視察 \(PDF\)](#)